

番号	28 - 11	申請者	循環器内科医長 本多 剛
<p>【審査申請課題】</p> <p>急性心筋梗塞患者を対象とした炎症マーカーMMPsに対するロスバスタチンの用量比較試験</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>急性心筋梗塞患者を対象に適正用量のロスバスタチンと低用量ロスバスタチンが炎症マーカーへ与える効果の違いを比較検討する。 本研究は多施設、オープンラベル(非盲検)、無作為化、群間比較試験のデザインで行う。</p>			
審査結果	承認 (平成28年8月10日)		

番号	28 - 12	申請者	循環器内科部長 三角郁夫
<p>【審査申請課題】</p> <p>熊本地震発生後の急性脳・心血管疾患発生数の予後に関する研究</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>熊本地震発生後に急性発症した入院を要する脳・心血管系疾患[心臓突然死、肺塞栓・深部静脈血栓症、急性冠症候群、心不全、たこつぼ型心筋症、脳梗塞、大動脈解離、不整脈(心室細動、心室頻脈、心房細動、上室性頻拍、洞不全症候群、高度房室ブロック)、けいれん、てんかん、高血圧]の発症数、死亡数を正確に算出し、その予後を明らかにする。</p> <p>そのため、熊本大学医学部附属病院および、熊本再春荘病院を含む熊本県内の関連施設20施設から患者情報を収集する。得られた患者情報から地震後に急性発症した脳・心血管系疾患の要因、予後に影響する因子を検討し、地震前3年(2013年1月1日から2016年4月13日迄)と発症率、予後やそれらに関連する要因を比較検討する。</p> <p>本研究の結果や考察、今後の対策に関する情報は熊本県民をはじめ日本国民に還元し、発症の予防や予後の改善に努める。本研究は熊本地震血栓塞栓症予防プロジェクト(Kumamoto Earthquakes thrombosis and Embolism Protection Project: KEEP Project)のひとつとして行われる。</p>			
審査結果	承認 (平成28年8月10日)		

番号	28 - 13	申請者	副院長 上山 秀嗣
<p>【審査申請課題】</p> <p>脳波を用いた意思伝達器機による意思疎通に関する研究</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>筋萎縮性側索硬化症 (ALS)や筋ジストロフィーといった神経筋難病により肢体不自由で意思の疎通が困難な患者様を対象に、脳波(視覚誘発電位)を用いた意思伝達機器を用いた場合の意思疎通状況を把握し、機器使用に当たっての課題抽出/改良を行うことを目的とする。</p>			
審査結果	承認 (平成28年8月10日)		